

健康保険証について

令和6年12月2日に現行の健康保険証の発行が終了します。

これに伴い診療を受ける際には、「マイナンバーカード」もしくは「資格確認書」の提示が必要となります。

当院では3台の顔認証付きのカードリーダーを総合受付に設置しています。



▶マイナンバーカードをお持ちの方

健康保険証の利用登録を事前に行っていないくても、当院のカードリーダーから利用登録が可能ですので、ご利用ください。

▶マイナンバーカードをお持ちでない方

保険証に代わり「資格確認書」が無償交付される予定です。受診時に持参いただき、総合受付でご提示ください。

※「資格確認書」の交付日等の詳細は、健康保険組合、全国健康保険協会(協会けんぽ)、市町村国保、国民健康保険組合、共済組合等の保険者や後期高齢者医療広域連合へお問い合わせください。

マイナンバーカードを使うメリット

●より良い医療を受けることができる

医療機関が、過去のお薬情報や健康診断の結果を見られるようになりますので、身体の状態や他の病気を推測して治療に役立てることができます。

また、お薬の飲み合わせや分量を調整してもらうこともできます。事故や災害時にも、お薬情報が共有されて安心です。

●手続きなしで高額医療の限度額を超える支払を免除

限度額適用認定証等がなくても、高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

- ・マイナンバーカードは診察前にご提示いただくことで診療に活用できます。
- ・来院されましたら、受付前にカードリーダーからの登録にご協力ください。
- ・ご不明な点がありましたら、窓口でお尋ねください。

※経過措置として、令和6年12月2日時点で有効な健康保険証は、最長1年間有効とする経過措置が設けられています。

レジナビフェア2024 in 大阪

レジナビフェアとは、病院による医学生向けの合同説明会です。全国から病院と医学生が集結し、医学生は興味のある病院のブースで話を聞くことができます。

医学部を卒業して医師国家試験に合格した医師は、2年間の臨床研修を行う必要があります。レジナビフェアは臨床研修を行う病院を選ぶことを目的として、全国各地で開催されています。

基幹型臨床研修病院の指定を受けた当院も、令和6年度から臨床研修医を募集しており、5月26日(日)にインテックス大阪で開催されたレジナビフェアに、昨年に引き続いてブースを設置しました。

今年度は指導医に加え、当院で初期臨床研修をはじめた研修医も参加し、当院のプログラムの魅力や取り組んでいる研修内容について説明を行いました。また、伊賀市の公式キャラクター“しのぶ”の着ぐるみや伊賀忍者のポスターで伊賀をPRしました。

当院のブースへの来場者は、昨年度より大幅に増え、より多くの医学生に当院や伊賀市の良さを知っていただけたのではないかと思います。

これからも、基幹型臨床研修病院として「若い医師が良い医療者となるよう成長を支援する」という使命を果たし、多くの若手医師が当院に集まるよう、努力してまいります。



当院での膝関節手術の取り組み

伊賀市立上野総合市民病院 整形外科 うんのひろのり 海野 宏至



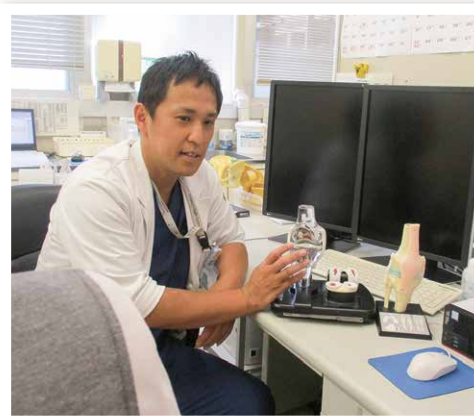
高齢化が進む近年において、膝関節痛に悩まされる方がたくさんみえると思います。膝関節痛を生じる疾患は多数ありますが、その中で最も多いものが変形性膝関節症といわれる疾患です。変形性膝関節症とは、主に加齢に伴い関節を覆っているクッションである軟骨がすり減ってしまい、骨同士が擦れあうことで痛みなどが起こる病気です。痛みや変形の程度が軽度である場合は、まずは鎮痛剤の使用や、運動療法を行いますが、痛みが強い場合は人工膝関節置換術による手術を行うことで、痛みがとれて満足した生活が可能となります。

当院での人工膝関節置換術における工夫した取り組みとして、ナビゲーションシステムを使用した正確かつ安全な手術を行っています。人工膝関節置換術における手術後の成績には正確な角度でのインプラントの設置が重要です。ナビゲーションシステムは手術中に骨に取り付けたアンテナ等を赤外線カメラで捕捉することで、手術中に骨切りの量や角度をリアルタイムで確認しながら手術を行うことができ、より正確な手術を可能にすることができます。当院ではすべての人工膝関節手術においてナビゲーションシステム等のツールを用いています。

また、手術後の痛みを少しでも減らすために、様々な種類の鎮痛剤や神経ブロック等を併用して、より効果が高い痛み対策を行っています。さらに、抜糸が不要な縫合方法や、特殊な被覆材を用いており、手術後は比較的早期にシャワー浴等を許可し、なるべく早く日常生活へ復帰できるよう工夫を行っています。

その他、股関節の痛みがある変形性股関節症の患者さんには最小侵襲前方アプローチと呼ばれる、筋肉を全く切らない人工股関節置換術を用い、手術後の痛みや合併症が少なく、回復が早い手術を行っています。

膝関節痛、股関節痛にお悩みの皆さんのお力に少しでもなれるようにと思っていますので、お気軽に当院外来までお越しください。



第74回日本病院学会に参加・演題発表をしました

令和6年7月4日～5日に三重県総合文化センターで行われた「第74回日本病院学会」に、当院から多数のスタッフが参加し、8演題の発表を行いました。

日本病院学会は、その名のとおり全国の病院関係者が参加する歴史ある学会です。各病院・施設での経験や取り組みが多く発表されて、とても刺激になった2日間でした。

今後も病院の各部門において自己研鑽やスキルアップを推し進めるとともに、その成果を基に学会発表を積極的に行い、患者さんが満足できる、より質の高い医療を提供できるよう努めてまいります。



発表演題

- 病床数281床の公立病院における消化器外科医の病院総合医的医療〈診療部〉
- せん妄ハイリスク患者ケア加算に係るチェックリストの活用が予防的看護介入に及ぼす効果〈看護部〉
- 神経症状の併発により理学療法での症状改善に難渋した3症例
〈リハビリテーション課〉
- 当院における超音波検査後使用しているおしぼりディスペンサーの管理について
〈放射線技術課〉
- 病棟採血の経過と現状報告～看護師業務軽減への貢献率～〈臨床検査課〉
- 当院におけるエコーガイド下穿刺の取り組み〈臨床工学課〉
- 4年目を迎えた当院での連携充実加算の実績と課題〈薬剤課〉
- 当院における大腿骨近位部骨折患者の術後食事摂取量と筋肉量の変化の検討
〈栄養管理課〉